

翌年に迫る福島10年・チエルノブイリ35年 国の政策からみる被災地の現状



ベラルーシ共和国プレスト州での甲状腺がん検診

2020年9月4日(金)、グリーンコープ生協ふくおか組合員の方を対象とした木村真三先生の講演会が開催されました。今回の講演会は、新型コロナウイルスの影響を考慮し、オンライン開催となりました。講演の内容を抜粋し、報告させていただきます。

(主催：グリーンコープ生活協同組合ふくおか、共催：チエルノブイリ医療支援ネットワーク)

■ 原発事故後の今を、その先を伝える

私はここ数年、福島県二本松市内の小中学校で放射線の出前授業を年に80〜90回行っています。福島第一原発での事故から9年以上が経過し、今の小学校1、2年生は事故後に生まれた世代です。東日本大震災を経験していない子どもたちを含め、小中学生に対し、原発事故で何があったのか、その結果福島が今どういう状況にあるのかをお話をしています。

福島第一原発で爆発が起き、放射性物質が私たちの住んでいる家や山を汚して、さらに日本全国や世界中にも飛んでいきました。ではこの放射線というものは、いつまで気をつけたらいいのでしょうか。

例えば昆虫の寿命は、「生きる」「死ぬ」という1と0の関係です。生きているのを1としたら、死んでしまえば0になります。

ところが放射性物質は、等間隔である一定の時間が経過すると半減していくという不思議な寿命の減り方をします。これを半減期といいます。この半減期が発見されたのは、1903年にノーベル物理学賞を受賞したキュリー夫人の功績です。

■ 放射性物質によって異なる半減期

ヨウ素131という放射性物質は原発事故のとき、知らず知らずのうちに空気や水、そして食べ物の中から私たちの体内に取り込まれて甲状腺に溜



2019年3月、福島県浜通り北部にある双葉郡浪江町



以前は田畑だった場所には柳やススキが生い茂っている

まりました。ヨウ素131の放射線によって甲状腺が傷つけられ、最終的には甲状腺がんになると言われています。

ヨウ素131は8日間で半分になります。さらに8日経って16日で4分の1、さらに8日経つと8分の1と、どんどん減っていく。原発事故から2ヶ月経つと1000分の1になり、今では天然中にはほとんど存在しないということになります。

セシウム134の半減期は2年です。これは原発の中から出てくる人工放射性核種と呼ばれているものです。事故から9年超が経って約32分の1となり、だいぶ減ってきました。ですが32分の1となってもまだまだ影響を及ぼす部分があり、放射線量の高い地域、今でも帰還困難な地域では、このセシウム134は検出されています。

セシウム137の半減期は30年です。非常に長い年月をかけながら減っていくわけです。その影響はまだまだ福島に、そして福島以外の東北や関東にも未だに残っているということです。

■物理学的半減期で説明できない現象

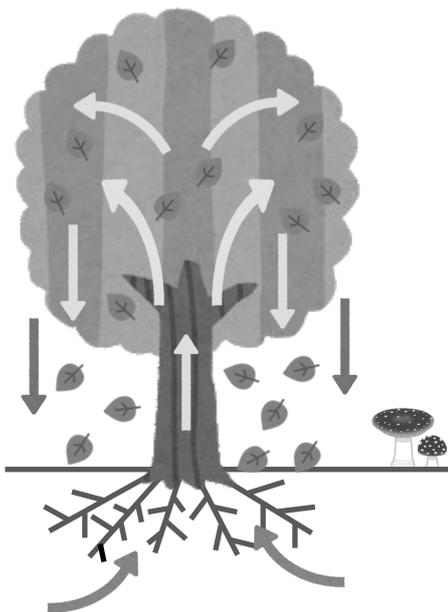
他県ではあまり見る機会はないでしょうが、福島県では小学校や公園など至る所に空間の放射線量を測定するモニタリングポストがあります。ある日、二本松市の小学校で出前授業をしているとき、5年生の女の子がこう言いました。

「先生、去年と今年のモニタリングポストの数値が変わりません」

さきほど放射線の量は半減期とともに減っていくというお話をしました。では一体、これはどういうことでしょうか。事故から時間が経って半減期を迎えるにもかかわらず、キュリー夫人が発見した現象を覆すような事象が自然界で起きている可能性が出てきた、すなわち物理学的半減期では説明できない半減期が出現したというわけです。こんなことであるのでしょうか。実は、チェルノブイリでも実際にこのようなことが起きています。

■自然界での放射性物質の循環

植物は茎や根にある生長点という大きく成長する部分に養分が行き渡ります。植物の三大栄養素であるチッ素、リン酸、カリウムのうち、カリウムはセ



シウムと性質がよく似ています。したがって植物にはカリウムとセシウムの見分けがつきません。そのため植物はセシウムを熱心に集めてしまいます。根っこから吸収されたセシウムは葉っぱに集まり、秋になると落ち葉となって地面に溜まります。

九州や私が生まれ育った四国では落ち葉は1年経ったら腐葉土となります。しかし福島県では2、3年経たないと腐葉土になりません。それは寒さの影響で分解速度が違うためです。この腐葉土は、植物にとって大切な栄養分です。そのため、その栄養分を根っこから吸い上げて地面に溜まるという循環が起こり、常に放射性セシウムを地表面に溜めていくという現象が起きてしまいます。

雨や雪でセシウムが地面に潜って拡散されようとするのですが、森林や草は根っこからそのセシウムを吸収するために周りから集めてまた元のところに戻してしまう。つまり放射能が溜まっている線量の高い地域が山の中で起きてしまうということです。

■ 生涯、放射線の影響はつきまとう

いつまで放射線に気をつけないければならないか、その答えは私たちが生きている間ずっとです。現在私たちが気をつけなければならないのはセシウム134と137です。特にセシウム137は物理学的半減期だけでも30年かかるのに、山や植物が密集しているところではもっと長い半減期が存在するというわけ

です。

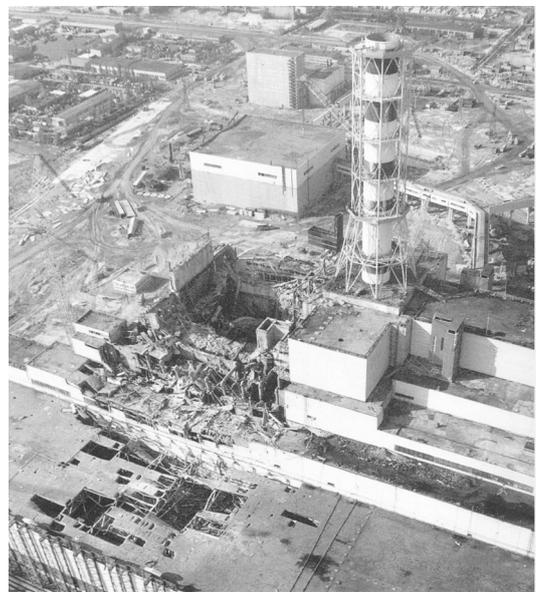
30年という期間がどんなものか、皆さんが12歳の小学校6年生だったらと仮定して想像してみてください。原発事故から9年が経った今、あと21年で半減期がやってきます。そのときあなたは33歳です。結婚して子ども

が生まれているかもしれませぬ。あなたのお子さんが小学校に通っているかもしれない。そういった状況の中、セシウム137はまだまだ半分も残っているというわけです。

さらに30年経つと、あなたは63歳です。あなたのお孫さんが小学校に通っているかもしれない。この時セシウム137はまだ4分の1もあります。

そしてさらに30年して93歳となると、もう墓の下かもしれません。もしかするとあなたのひ孫さんが小学生になっているかもしれない。しかしセシウム137は、まだ8分の1も残っています。そんな状況では安心して山の中に入れることは叶いません。

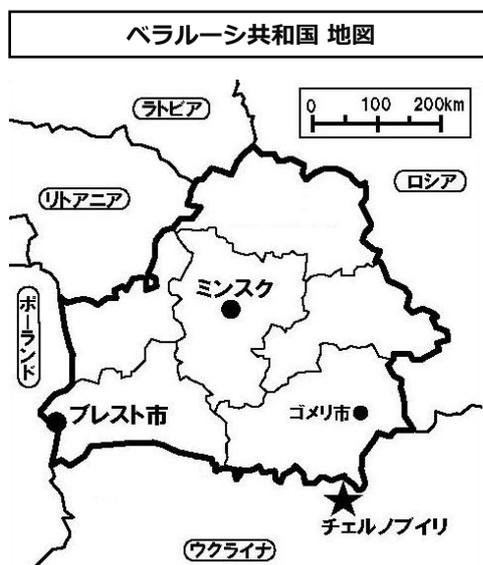
放射線量は長い長い年月をかけながら減っていきます。決して事故から9年で終わったわけではあり



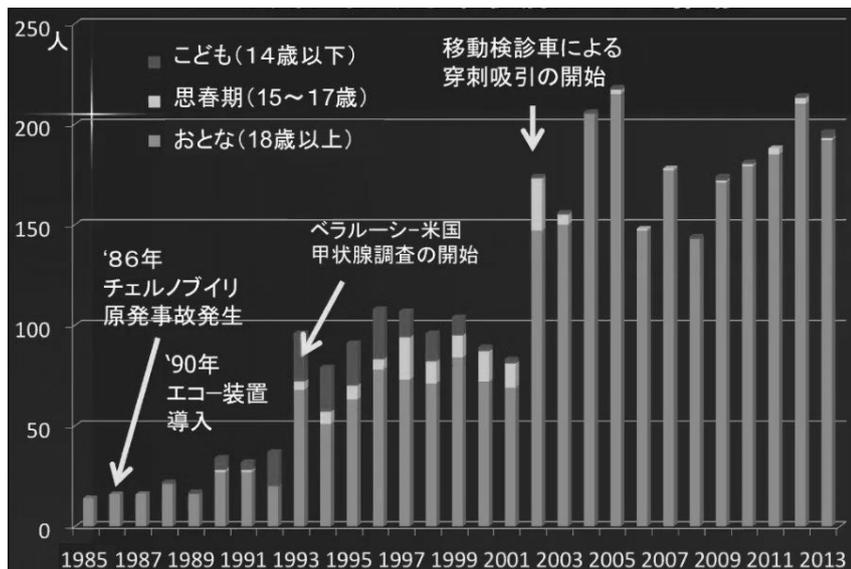
爆発したチエルノブイリ原発4号炉



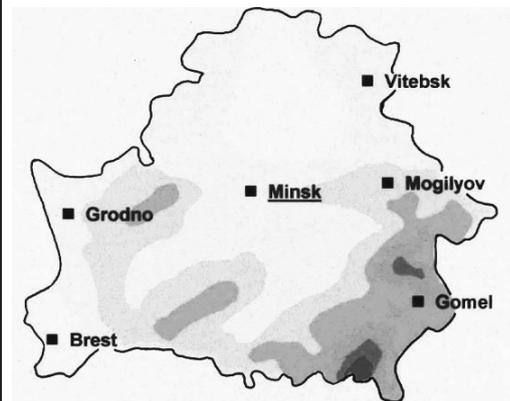
住民の避難に使われたバス



ません。今後も気をつけねばならない、死ぬまで気をつけなくてはならない状況、時代が来たということ



ブレスト州における甲状腺がんの推移 (木村先生資料より)



ヨウ素131の汚染状況

■ チェルノブイリ原発事故と甲状腺がん

これはチェルノブイリにも当てはまることです。チェルノブイリもまだ終わっていません。ここからは甲状腺がんをテーマに歴史をふり返ってみます。

1986年4月26日未明、チェルノブイリ原発4号炉が爆発炎上しました。大量の放射性物質が大気圏中に漏洩し、約8900キロ離れた日本にも降り注ぎました。福島ではセシウム137と134は1対1の関係で放出されましたが、チェルノブイリではこれが2対1の関係でした。このセシウム137の広がりによって大きな影響がもたらされました。

チェルノブイリ原発は現在のウクライナにありません。事故が起きた26日から翌27日にかけて、風向きは真西の方向でした。また降雨があつたために高濃度汚染地域ができました。さらに28日から29日にかけて風が北上し、ベラルーシは大量の放射線で汚染されました。

事故後の5月10日には、大雑把ではありますが路上に吸着した放射性ヨウ素から計測された汚染地図が作成されました。この汚染地図に合致するように甲状腺がんが発生すると思われましたが、実際は違いました。汚染地図から土壌汚染の広がりが見えますが、実際にはヨウ素は気化して大気中を流れていくため、地図上では汚染の程度が低いとされている東部のブレスト州でも現在甲状腺がんが多発する非常に深刻な状況になっています。

■ ブレスト州での甲状腺がん推移

ブレスト州はチェルノブイリ医療支援ネットワークが拠点としていてところです。このブレスト州における甲状腺がんの推移を見ていきましょう。

旧ソ連では子どもは14歳以下です。15〜17歳を思春期と言い、思春期外来というものがありません。18歳以上が大人というカテゴリーになります。甲状腺の慢性疾患が多発するベラルーシやウクライナのような内陸国では、新生児検診から甲状腺の検査することになっています。

ブレスト州では92、93年頃から甲状腺がんの多発が明らかに見えるようになりました。そして翌年以降も次々とがんが見つかりました。年齢層では徐々に小児期が減り、加齢によってシフトして思春期の甲状腺がんが増え、同時に大人の甲状腺がんも増えていきました。



日本の医療専門家から伝えられた検診技術

特に2002年以降、チエルノブイリ医療支援ネットワークから寄贈された移動検診車(医師や看護師、臨床検査技師を現地に運ぶ手段として用いる車両)と穿刺吸引細胞診(針を甲状腺がんと疑わしいところ、腫瘍やのう胞に刺して細胞を採る)の技術を導入し、検診体制が整備されたことで、より多くの甲状腺がんが発見されるようになりました。ベラルーシでは甲状腺検査に限らず、医療機関で

2020年8月31日、第39回甲状腺検査評価部会の資料配布より、

悪性または悪性の疑いは、246人 (うち1人は良性結節)

先行調査(検査1回目)	116人/300,472人	(悪性確定102人)
本格調査(検査2回目)	71人/207,529人	(悪性確定 52人)
本格調査(検査3回目)	31人/217,529人	(悪性確定 27人)
本格調査(検査4回目)	21人/177,424人	(悪性確定 13人)
25歳時の節目の検査 (実施開始H29年度)	7人/5,234人	(悪性確定 4人)

※悪性患者11人の集計漏れが発覚 (2017年7月8日)

県民健康調査の結果まとめ (木村先生資料をもとに作成)

の検査に係る医療費はすべて無料です。甲状腺と関係のない病気で診療所にかかった場合でも触診がなされます。甲状腺検査については、危険予備軍として事故当時40歳以下の人たちが検査を受ける義務があります。その受診率は98%と非常に高い数値です。

事故から30年目の2016年には263名、翌31年目には310名の甲状腺がんが見つかり、まだまだ深刻な状況です。

■懸念される受診率低下と実態の矮小化

福島県の県民健康調査における甲状腺検査結果は上図表のとおりです。母数が減ってきているにもかかわらず、落ち方が下がっており、明らかに甲状腺がんの上昇を意味するものではないかと私は見えております。2017年7月には、第4回本格検査において悪性患者11人の集計漏れがあり、調査の実態が明らかにされていない非科学的な部分が露見しました。

また「甲状腺がんの発生に放射線との関連性はない」と報じてしまう研究者がいることで、検査をもっと減らしてもいいのではという意見も出てきており、どんどん受診率が下がっています。この人数の減り方は尋常ではないと思います。

福島での初期の被曝については、実はあまり知られていません。3月11日にマグニチュード9という非常

に大きな地震と津波が発生し、その影響で原発が爆発したのは翌12日です。そして風向きによって飯館村などが大量の放射能で汚染されたのが15日。福島市内の雨水からは、10万3千ベクレルの放射性ヨウ素が確認されました。この量を摂取してしまうと、数ミリシーベルト以上の被曝をすることになります。

さらに、福島市より放射線量が低いとされている田村市の阿武隈高原SAの雑草を採取したところ、13万5千ベクレルのヨウ素131が見つっています。これは、当時の春野菜には、それ以上の放射性ヨウ素が含まれていたということを示しています。

■新型コロナウイルスがもたらす影響

新型コロナウイルスの影響下で、福島県では甲状腺検査の一部実施見合わせが生じており、今後の統計データも変わってきます。また汚染が懸念される山菜やきのこの調査はほとんどなされていません。実態調査をしなければ実際の汚染状況や被害状況は明らかにならず、矮小化をもたらす可能性もあります。

今年のゴールデンウィーク、私は緊急性と必要性を判断し、東北6県と群馬、長野など北関東を含めて8県へ出張し、道の駅や農協の直売所などへ足を運び、約200点の山菜やきのこを購入して汚染状況を解析するという調査を行いました。

実は福島県では、基準値を超える、あるいは基準値に近い山菜はほとんど発見されませんでした。福島県ではきちんと検査されているということです。

一方、近隣の山形県や宮城県などでは所々で基準値を超えるものが出てきました。群馬県でも発見され、これは東京新聞にも掲載されました。こうしたデータを公開することで、「まだ問題がある」「終わっていない」と発信していくことが大切だと考えています。

■ 原発事故と向き合い、生きていく

長年チェルノブイリでの調査を行っていたため、福島での事故当初から冷静に状況を分析することができました。決して悲観はしておりません。福島でできることを諦めてはいけなと思います。福島で住民の方が生きていくため、安心して生活していくためには、どんなことに気をつけていかなければならない



福島県内のモニタリングポスト
(2019年3月)

か、専門家の立場から考えて、住民の方々と関係をつないで行動していくために、私は福島で生活することを選びました。皆さんとともに考えて行動すること、それを続けていくことが将来への明るい兆しになると信じています。

(※木村先生によるオンライン講演会は、今後10月～12月にかけて8つのグリーンコープ生協で開催される予定です。)

【木村真三先生プロフィール】

獨協医科大学国際疫学研究室福島分室

1967年愛媛県生まれ。放射線衛生学者。2

000年北海道大学より博士号（地球環境科学）

取得。放射線医学総合研究所、労働安全衛生総合

研究所を経て、2011年8月より獨協医科大学

准教授、同学国際疫学研究室長。

チェルノブイリ原発事故被災地ウクライナにお

ける健康調査の功績からジトーミル国立農業生態

学大学より名誉教授号を授与される。東海村臨界

事故の経験から、福島第一原発事故直後に現地入

りして放射線量測定、サンプル採取を実施。汚染

の実態を明らかにし、その様子はNHK ETV

特集『ネットワークでつくる放射能汚染地図』と

して放映され、反響を呼んだ。

2013年より福島県在住。



報告

2020九州国際フェスティバルにて活動PR、ブース出展！

2020年8月13日（木）、福岡市中央区の市立中央市民センターで開催された「九州国際フェスティバル」にて、主催者であるララクルジャパン様のご協力により、ステージでの活動PRとロビーでのブース出展をさせていただきました。

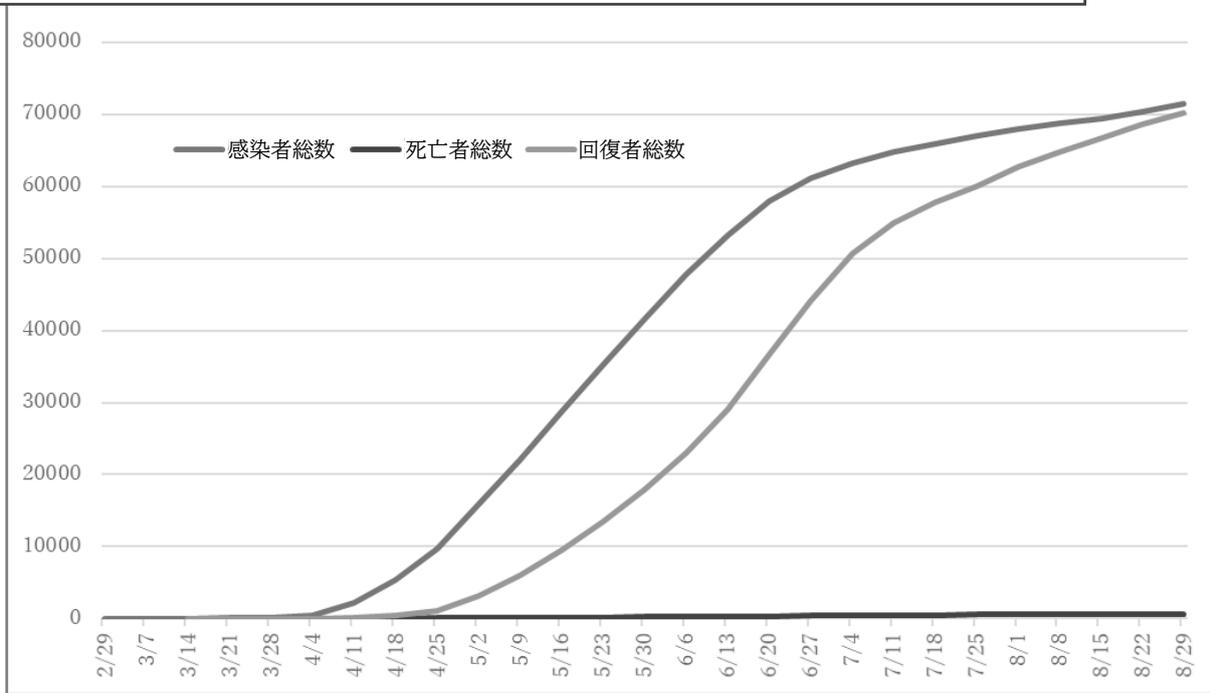
11ページにも登場するインターンの内田さん、藤永さんも参加し、来場者の方々へチェルノブイリ医療支援ネットワークの活動や被災地の現状について説明したり、ベラルーシの福祉工房「のぞみ21」で作られたマトリョーシカや麻製品、売り上げの一部が活動資金にあてられる支援コーヒーなどの商品紹介をしました。



ブース出展

ベラルーシにおける COVID-19(新型コロナウイルス感染症)の状況

ベラルーシにおけるCOVID-19の感染者総数、回復者総数、死亡者総数の推移



■ベラルーシでの感染

新型コロナウイルスによる感染は今年に入って世界的にも大きな脅威の一つとなっていますが、ベラルーシもその例外ではありません。ベラルーシで初めてCOVID-19により感染したのは2月27日、イランからの留学生でした。そしておよそ1か月後にはビテフスクの劇場の俳優だった男性が最初の犠牲者となりました。

その後感染者は増加し、5月から6月の中頃までは1週間の感染者数が5000人を超す状況でした。8月に入つてからは1000人を下回る週が多くなっていますが、今後も予断は許されない状況です。州別の数値を知りたいところですが、4月に発表されて以来公表されていません。

■感染防止に関する情報

ベラルーシ保健省のウェブサイトには「ベラルーシにおけるCOVID-19の状況」というコーナーが設けられ、新型コロナウイルス感染症の

症状、基本的な予防策、Q&A、高齢者のためのガイドライン、自己隔離の際の市民の行動規則、ソーシャルディスタンスに関するガイドラインなど様々な情報が提供されています。(※1)

「COVID-19に関する神話」というページもあって、例えば、

Q:殺菌用のUVランプはCOVID-19を破壊しますか?

A:紫外線は皮膚炎を起すことがあるのでUVランプを手や他の皮膚の殺菌には使用しないでください。

Q:抗生物質は新型コロナウイルスの予防や治療に効果がありますか?

A:いいえ、抗生物質はウイルスには効果がありません。

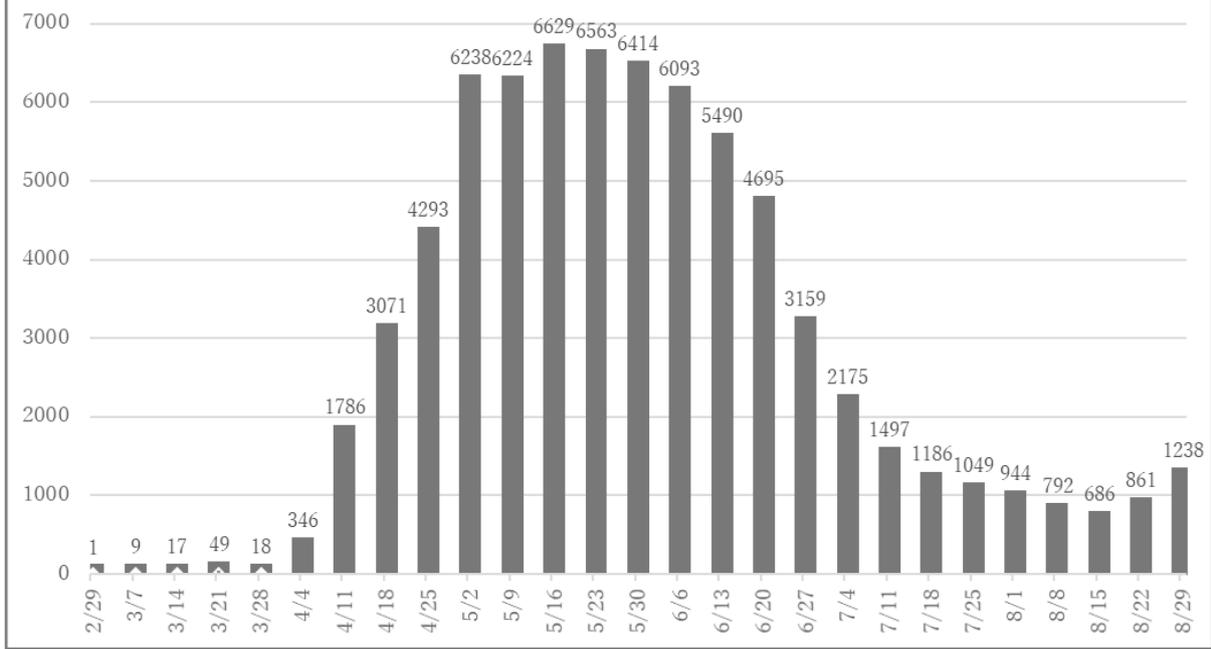
Q:タミフルは新型コロナウイルスの治療に効果がありますか?

A:現在までのところ、効果は確認できていません。

Q:ごま油で皮膚をこすることは新型コロナウイルスの予防に効果がありますか?

A:ごま油では新型コロナウイルス

ベラルーシにおけるCOVID-19の1週間の感染者数



(図はベラルーシ保健省から毎日発表されている数値を基に、週ごとの数をまとめたもの)

は死にません。
 などのように、民間療法や噂さなどに惑わされないための情報を提供しています。

■ 教育機関向けのガイドライン

とコメントで、ベラルーシの学校は9月が新年度となりますが、8月24日、ベラルーシ保健省はCOVID-19の蔓延に関連して2020/2021学年度の教育機関へのガイドラインを作成したと発表しました。このガイドラインも保健省のサイトに掲載されています。(※2)

ガイドラインには、ソーシャルディスタンスの原則を考慮した教育プロセスを行うよう示されており、始業・終了時刻のシフト分け、換気の必要性、授業やグループ学習の際の生徒同士の距離を1〜1.5メートル以上とすること、文化・スポーツ・レクリエーションなどの大規模な行事は屋外で行うこと、保護者懇談会や個々の保護者との面談は電話やEメールなどを使用すること、参加者が5人以上の会議などはビデオ会議形式で行うこ

と、教育機関で働く者には、毎日呼吸器疾患の兆候がないかどうかの調査と始業前には非接触型体温計による測定を行うことなど、様々な感染防止策が記載されています。

都市封鎖などの大掛かりな新型コロナウイルス感染症防止策は取られなかったベラルーシ。8月31日現在、ベラルーシ国営通信社ベルタによると保健省が発表したCOVID-19の検査総数は1,532,119人、感染者総数は71,843人、回復者総数は70,468人、死亡者総数は681人となっています。

(ベラルーシの人口は2019年時点で9,466,856人)

※1) www.minzdrav.gov.by/ru/dlya-beloruskikh-grazhdan/COVID-19/

※2) <http://minzdrav.gov.by/upload/dadvfiles/letter/metod-rekomend.pdf>

9月日より

チエルノブイリを生きる



自然が大好きなアンナさん。チエルヴエニ市の森で

今年4月、チエルノブイリ事故の被害から34年目を迎えたベラルーシ。事故の影響を受けた一組の母と娘の記憶をお届けします。

今回インタビューにに応じてくれたのはバレンチーナ・フィルモノヴァさんと娘のアンナさん。首都ミンスクから65kmほどの南東に位置するチエルヴエニ市在住です。最初に母バレンチーナさんに自身の生い立ちから事故当時の状況までを振り返ってもらいました。

「私は1974年にモギリョフ州クリマヴィチ市(チエルノブイリから約285kmの直線距離に位置)で生まれました。父、母、2人兄弟と2人姉妹に囲まれた大家族で、私は下から二番目の子でした。

12歳の時にチエルノブイリ原発事故が起きました。まだ子どもだったので放射能の影響や被害状況についてはあまり覚えていません。ただ事故後すぐに私は同年代の子達と一緒に黒海沿岸グルズフ村にある(アルテーク国際子ども保養センター)へ送られ、そこで1ヶ月のあいだ過ごしました。

その後、1989年にスモレンスク市の教育機関に入学するまで故郷の町に住んでいました。そして、今はチエルヴエニ市で精神科医として働いています。

私の家系はみんな健康でしたが、同じ町出身の舅は、進行性が早い悪性の肉腫で亡くなりました。」

現在、夫と3人の子どもに恵まれている彼女ですが、2002年生まれの子娘アンナさん(18)には健康への影響が出ています。

「長女(25)と長男(19)は健康に育ってくれたけど、アンナには生後7ヶ月の時に腫瘍が見つかり、それは事故後に広がった放射能との関連性が認められたものでした。3年間に及ぶ化学治療で腫瘍は除去できましたが、現在でも彼女にはある種の支障が出ています。それを言うのは控えさせていただきます。」

今でも毎日ホルモンの薬を摂取しなければならぬアンナには、社会保護法第18項によるチエルノブイリ原発事故身体障害者手帳が交付されています。公共交通機関の移動が無料になる等の特典がある手帳で、5年ごとに更新されてきましたが、彼女が18歳になる今年からは無期限で有効となります。」

人懐っこく談話に参加してきたアンナさんに自身の健康状態を語ってもらいました。

「就寝前に必ず薬を飲まなければならず、太陽の下に長時間いないようにするなど気を付けるこ

とが多いのは面倒だけど、体育の授業は休むことができるし、得することもありますよ。」

アンナさんは、国立教育大学ベラルーシ・中国語専攻科グループのリーダーを務める優秀な学生でもあります。

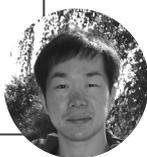
「今は中国語を学んでいますが、韓国語や日本語も機会があればチャレンジしてみたいです。昔ハローキティのデザインを目にして、このトレンドの鮮やかなピンク色のように華やかなアジア文化をイメージして興味が出ました。日本、韓国、中国の3か国のうちどこかへ行ってみたいし、そこで語学教師になるのが一番の夢なので、難しい勉強も頑張れます」。

大きな目標に向かっていく彼女は常にポジティブ・シンキングです。またバレンチーナさんも「アンナ自身が好きなことを楽しんでするのが大切」と娘の心の幸せを真っ先に願っています。

(※チエルノブイリ通信120号の表紙にもご登場いただきました。なおインタビューは2020年3月に実施したものを編集しています)

田中仁(たなかひとし)

ベラルーシ国立大学在学中から、フリーランスのジャーナリスト、通訳として国内外の新聞や雑誌で活躍中。ミンスク在住。



事務局にインターンがやってきた！



8～9月までの約2か月間、ドットジェイピーによる「NPOインターンシップ」を活用し、九州大学1年生の内田妃奈子さん、藤永久美子さんに事務局インターンとして活動に参加していただきました。

🍉 インターンシップをさせていただいている内田妃奈子(写真右)です。

春から大学生になったものの、コロナ禍で授業はオンライン中心でサークル活動もできない。長い夏休みは予定が全く無く手帳のページが真っ白な状態でした。このまま何もせずに過ごすのはもったいない、何かやりがいのあることをやりたいと思い、たどり着いたのがインターンへの参加でした。

「情報は命だ！」という川原さんの一言で、まずは1号から最新号までの通信を読むことになりました。最初はこんなにたくさん読み切れるのかと思っていたけれど、読み始めると「へーそうなんだ！！」と新しい発見ばかりですごく面白かったです。支援するだけでなく、ベラルーシの人々との絆が年々深まっていく様子が素敵でした。いつか私もベラルーシに行ってみたいなあ。

🍉 こんにちは！インターン生の藤永久美子(写真左)と申します。

川原さんをはじめ多くの方にお世話になりながら毎日楽しく活動に携わらせていただいています。私は今回のインターンで初めてチエルノブイリ医療支援ネットワーク(CMN)の存在を知ったのですが、日々過ごしている中CMNの魅力を強く感じております。また物販や講演会などの様々な経験を通して、チエルノブイリ原発事故や福島原発事故の影響が私の想像よりも遥かに厳しいものだということを痛感しました。同時にもっとこの活動に携わりたい、何か自分にできることをしたいと思うようになりました。

CMNでは学ぶことばかりで、学んだことから自分なりに考えることが私はとても楽しいです。CMNで活動していく中で私の価値観や考え方も大きく変わってきたように思います。インターンを終えてからも活動に携わらせていただきたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。

たくさんのご支援を ありがとうございます

(順不同・敬称略)

合計 4,504,919円

- *活動支援金 4,396,419円
- *のぞみ21カンパ 6,000円
- *雪だるま3号カンパ 0円
- *東日本支援カンパ 43,500円
- *おまかせカンパ 59,000円

(2020年6月～8月分の寄付内訳)

●口座寄付

浅原望樹 池田典子 伊藤セツ子 榎本みつ枝 大木正人 沖
佐和子 小野直子 河原畑宣子 佐々木悦子 佐藤和子 澤
野重男 関根敏子 高橋武三 田中直子 中村幸枝 野中孝
子 野村文子 引田良子 深川哲臣 古本募金きしゃぼん(運
営:嵯峨野株式会社) 松井岩美 安永紀子 和田伸夫

「都道府県別」

【富山県】 1名	【東京都】 2名	【埼玉県】 2名
【山梨県】 1名	【静岡県】 1名	【愛知県】 3名
【大阪府】 3名	【兵庫県】 2名	【鳥取県】 1名
【島根県】 1名	【岡山県】 2名	【広島県】 6名
【山口県】 5名	【福岡県】 34名	【佐賀県】 2名
【長崎県】 1名	【熊本県】 5名	【大分県】 5名
【宮崎県】 3名	【鹿児島県】 3名	

計83名(匿名含む)

●月々の定額寄付(マンスリーサポーターの皆さま)

相羽美香子 磯道綾子 一瀬和美 伊藤利恵 稲田照子 井
上礼子 内野千鶴子 江原健一 延壽富美 大麻卓子 大久
保伸子 大久保弘子 大崎知恵 太田昌子 大場満 小黒慈
子 落石久子 片山富美子 金山涼子 紙森優子 亀川早苗
河上雅夫 川崎君子 川崎清美 川尻愛子 木村雅子 倉掛
大輔 古賀輝洋 古賀尚子 後藤宇企子 財津耐代子 財津
悠子 斉藤美代子 阪口香奈子 坂口馨子 佐々野也依 佐
藤一江 佐藤進一 佐藤照子 白浜千恵子 末永浩子 首藤
展子 高山知佐子 竹田恵子 武田孝子 田中京子 珍部千
鳥 土持秀男・由利子・朱 加 綱脇牧子 富永隆史 鳥井原
桐子 鳥原良子 永尾ゆかり 中島幸代 中島まゆみ 永野
沙智子 西首延子 丹羽道代 納富育代 深川哲臣 福井初
子 福本勅子 藤本孝子 湊田三輝 古川恵子 松尾智恵子
松木幸美 松永庸子 丸山子より 水本敬子 三野桂子 宮
野義治 村西美由紀 村松知子 室屋芳乃 山下澄子 山中
陽子 山本亮輔 吉田美抄子 渡邊久美子 渡邊真志子

計116名(匿名含む)

貴重なご寄付をお寄せいただき、どうもありがとうございます。皆さまよりお預かりしたご寄付は、チエルノブイリ被災者医療支援、福祉工房のぞみ21支援、移動検診車雪だるま4号購入の積立、東日本震災被災者支援、事務費用等にあてさせていただきます。

※通信へのお名前掲載をご承諾いただいた方のみ、ご紹介しております。

皆さまからのメッセージ(一部抜粋)

●ありがとうございます。●コロナお見舞いとして口追加しました。●リユドミフさんの記事、うれしく拝見しました。●古本募金きしゃぼんは良いアイデアですね。頑張ってください。●素敵なカード、ありがとうございます。●コーヒーは新鮮でおいしいです。●フェアトレードのおいしいコーヒーをありがとうございます。●コロナに気をつけてお過ごしください。●現地で大変な思いをされている方が多くいらっしゃるのに、何もできないんですが、少しでも思っています。●お世話になります。よろしく願っています。●コロナのことも不安ですが、少しです。お役に立てば。●少しでもお役に立てれば嬉しいです。●いつもおいしいコーヒーをありがとうございます。●これからも支援させてもらいます。美味しいコーヒーをありがとうございます。●トセパンコーヒーゼリー作りました。とても美味、リッチです。●支援を続けていらつしやることに敬意をいたします。すこでもお役に立てるようであれば幸いです。●少しでも足しになれば嬉しいです!●被曝された方々に心からお見舞い申し上げます。●日々の活動、お疲れ様です。コロナ禍で大変なことと思います。微力ながら、少しでもお役に立てたらと思います。

集記 編後

毎年9月からベラルーシ共和国に検診団を派遣していましたが今年はコロナウイルスの影響で中止となりました。残念で仕方ありません。早くコロナウイルスが収束することを願っています。(H.K)

お知らせとお願い

振込 用紙は原則として毎号同封した時にいつでも振り込みできるように、毎号同封してほしいという要望があったからです。決してお振込を強要するものではありません。恐れ入りますが、ご不要な方は処分をお願いいたします。

活動の様子や通信バックナンバーなどはホームページをチェック!

チエルノブイリ 医療支援

検索

地球にやさしい再生紙と大豆インクを使用しています